

きいて・めもして・こたえよう

きぎょう か はなし じもと かいしゃ
起業家の話・地元で 会社をつくる

なまえ
名前

きくめあて かいしゃ どうき くふう
聞くめあて 会社をつくった「動機」「工夫」「みなさんへのメッセージ」を、
わけてメモしましょう。

ことば どうき くふう
おとさない言葉：動機・工夫・メッセージ

ほうそう
放送が終わったら、
ひらいて問題に答えましょう。



やまおり

(1) 大西さんが会社をつくったきっかけ(動機)は、どんなことでしたか。

(2) 大西さんがした「工夫」として、話されたものはどれですか。○をつけましょう。
ア とどけるときに声をかけて、お年寄りの様子を見まもる
イ できるだけ高い値段で売る

ウ 遠くの工場から品物を運ぶ

(3) なやんだ大西さんを支えたのは、お客さんのどんな言葉でしたか。

(4) 大西さんがみなさんに伝えたメッセージの中心はどれですか。○をつけましょう。
ア 目の前の「こまった」を「どうにかしたい」と思う気持ちが仕事になる

イ 仕事はお金もうけがすべてだ
ウ 夢は大きくないといけない

(5) あなたの町の「こまり事」で、あなたが「どうにかしたい」と思うことは何ですか。理由とともに書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、この、町で、会社を、つくった、起業家、大西さんの、お話です。大西さんが、「なぜ、会社を、つくったのか」という、動機、「どんな、工夫を、したか」、そして、「みなさんへの、メッセージ」を、聞き取りましょう。

「わたしが、会社を、つくった、きっかけは、地元の、こまり事でした」と、大西さんは、話します。「この、町では、お年寄りが、買い物に、行くのが、大変でした。近くの、店が、へって、しまったのです。『それなら、家まで、食品を、とどける、しゅみを、つくろう』。それが、始まりでした。」

「工夫も、たくさん、しました」と、大西さんは、続けます。「ただ、品物を、とどける、だけでは、ありません。とどける、ときに、短い、声かけを、して、お年寄りの、様子を、見まもります。地元の、農家から、野菜を、仕入れ、しゅせんな、ものを、安く、とどける、くふうも、しました。」

「うまく、いかない、ことも、たくさん、ありました」と、大西さんは、正直に、語ります。「お客さんが、集まらず、やめようかと、なやんだ、夜も、あります。でも、『あなたの、おかげで、たすかる』という、一言に、支えられて、続けて、こられました。」

最後に、大西さんは、みなさんに、こう、伝えました。「大きな、夢でなくても、いい。目の前の、『こまった』を、『どうにか、したい』と、思う、気持ちが、仕事に、なります。みなさんの、住む、町にも、きっと、たくさんの、たねが、あります。」

メモのれい

起業家・大西さんの話（動機・工夫・メッセージ）

動機：地元のこまり事＝店がへりお年寄りの買い物が大変→家まで食品をとどけるしゅみを

工夫：とどけるとき声かけで様子を見まもる／地元の農家から仕入れしゅせんな野菜を安く

メッセージ：大きな夢でなくてよい／目の前の『こまった』を『どうにかしたい』気持ちが仕事になる

こたえと かいせつ

（1）近くの店がへって、お年寄りが買い物に行くのが大変だったこと

「地元の、こまり事」＝お年寄りの買い物の大変さが、会社をつくる動機でした。

（2）ア（とどけるときに声かけをして、お年寄りの様子を見まもる）

「短い、声かけを、して…様子を、見まもります」「農家から仕入れ安くとどける」が工夫です。

（3）「あなたのおかげでたすかる」という言葉

「『あなたの、おかげで、たすかる』という、一言に、支えられて」と言っていました。

（4）ア（目の前の「こまった」を「どうにかしたい」と思う気持ちが仕事になる）

「大きな、夢でなくても、いい」と前置きし、目の前の困り事への思いを大切に伝えました。

（5）（例）バス停に屋根がなくて雨の日に変な。お年寄りが安心して待てるようにしたいから。

こまり事と「どうにかしたい理由」が書けていれば正解です。